



楽々亭通信

第12号
令和3年8月1日号

発行：NPO法人没イチの会・京都

7月、楽々亭十一回を 開催いたしました

『お盆』

本願寺派布教使

安堂芳雅

十二月は「師走」とい
い、僧侶が忙しく走りま
わる月だと書きますが、
実際、僧侶が走りまわる
のは、これからの季節、
「お盆」です。

これからみなさんも、
衣の袖を翻し、汗をかき
かきお参りに向かうお
坊さんに何度も出会わ
れると思います。

さて、お盆の由来は
『孟蘭盆経』に説かれて
います。

お釈迦さまのお弟子
で神通力に優れた目連
尊者が、亡くなった母親
はどうしているのか、神

通力をつかつてみてみる
と、なんと、母親は「餓鬼
」世界で苦しんでいまし
た。



母は、我が子の為に罪
を犯したのです。

目連尊者がまだ子供
頃、炎天下の中、水を求め
て旅人が来ました。家の
水がめには水がみなみ
とありましたが、「あの旅
人にこの水をあげれば、
我が子の飲む水が減って
しまう。」と思った母親は
、「うちの水がめにも、水
はまったくありません」
と嘘をつき旅人を追い返
しました。

我が子のみを愛おしく
思い、誰にも施すことな
く自分の幸せだけを考え
た、このたった一度の行
いによって、母親は「餓鬼

「世界に落ちました。
目連尊者は自分の為に「
餓鬼」世界に落ちた母親に
食べ物をお届けしようとす
るのですが、どんな神通力
をもってしても母が食べよ
うとすると、食べ物たちは
まち燃えて炎となってい
まいます。

自分の力ではどうする
こともできないと思った
目連尊者は、お釈迦さまに
すくいをもとめました。

お釈迦さまは目連尊者
の訴えを静かにお聞きに
なり、「目連よ、あなたの
母の罪は重く、あなた一人
の力ですくうことは難し
い。雨季の勉強修行の最終
日（七月十五日）にすべて
の修行僧たちに精一杯の
食事の布施をなさい。そ
うすればあなたの母親も
救われるだろう。」と説か
れました。

そして、目連尊者は、お
釈迦さまの教えにしたが
って仏弟子たちに精一杯

の食事の布施をし、その功
徳によって、母親は「餓鬼
」世界の苦しみから救われ
ました。

このようなお盆の由来
が説かれた「孟蘭盆経」は
、中国儒教の影響を強く受
け、日本に伝えられて後、
土着の先祖供養の習俗と
結びつきました。

ですから、お盆の期間中
は亡くなった先祖が帰っ
てきて、一緒に過ごし、再
びあの世にもどる、という
一般的なお盆の形が出来
上がったのです。

しかし、浄土真宗の教え
では、亡くなった方はすべ
に阿弥陀如来の功德によ
ってお浄土に往生されて
います。その仏さまに対し
て、私たちの特別な供養は
まったくありません。
また、お盆の期間に他宗

で盛んに行われている、「
施餓鬼会」の法要は行いま
せん。なぜならば、阿弥陀

如来の願いどおり、「餓鬼
」世界に落ちている先祖な
どいるはずがないからで
す。

私が布教使になる時に
指導下さった先生は、
「浄土真宗の「お盆」は
、自分の生き方を見つめ直
す、大事なお仏事です。」
と言われました。

目連尊者の母親のよう
に、自分だけの欲望を満た
して幸せを感じる。
ものを貪り、他の人と奪
い合い、傷つけ合う。

望んだものを得ても、も
っと、もっとと、満足する
ことがない。「餓鬼」の世
界を生きていませんか。

目連尊者が母親をすく
う為におこなった、自分だ
けの幸せに執着せず、他の
人の喜びや悲しみに寄り
添う。

おたがいに支え合い、も
のを分かち合って、共に

幸せになっていこうと、できるだけのことを、精一杯行こう。
この「布施」の行いは、安らぎをもたらしてくれます。

「餓鬼」と「布施」のどちらの生き方を日々生きていくか。

どちらを大切に生きていかなければならないか。

お盆のお仏事をいただいた私たちは、自分自身に問いかけ、生き方を見つめ直すご縁としたいものです。



松竹のプロデューサーとして

その4

『必殺仕事人が出来るようになる!!』

ある日、朝日放送の副社長より電話が入り、「何か時代劇の面

白い企画がありませんか、あったら是非欲しいので一度会いたいですか？」ということでしたので、ABC本社で会いました。

副社長は「金をもらって人を殺すという人がもう一つ下の悪人を殺す、なにかその辺でストーリーを面白く展開させながら考えてくれませんか?」「分かりました、考えましよう」と云う話があり早速色々考えました。

まず第一に、従来の悪役のタレントでは面白くないので、全く善人の顔をした役者でないと凄みが出ないと考え、善人顔をしている、「山村聡」、「緒形拳」、「林与一」、この3人は今まで悪役をしたことがないという人達でした。

朝日放送の副社長と面会を持ち俳優の提案をした所乗りに乗って来ました。

そして女優は野川由美子が先発で、次は鮎川いずみにしました。これで大きなところの役者は決まり、監督は?と云う事になり、アクションを撮らせたらZOOの英作欣次を指名し、音楽は丁度その時最流行していまし

た、平尾昌章にしようとなを出しました所、大賛成を得まして、私が走り回りながら交渉、その結果皆大変面白いと云ってられて、参加すると云う返事をもらいました。

そして、撮影に入り三週間後に出来上がり試写会を開きました。朝日放送からはお偉方が来られ当方合わせて50名に上る人数でした。

終われば結果は大好評で、文句の多いテレビ局の人々がさすが何も言わずに拍手ばかりでした。

そして、第一回の放送が終わった、視聴率が今まで朝日放送になかった高視聴率が出ましたので、皆さん大喜びでした。その後女優、男優達からは是非出演させて欲しいと直接、間接に連絡がありものすごい人気でした。

そして大物女優が、大胆にも小生の東京のマンションまで押し寄せてきて・・・

これ以上の女優との事は次回をお楽しみに。

櫻井洋三

楽々亭 第12回 8月の予定
8月17日(火)
西京区役所洛西支所会議室
午前10時~12時
7月に開催した場所です。
表玄関口から入って下さい。



楽々亭通信

発行元：NPO法人 没イチの会・京都
住所：京都市西京区大原野東境谷町一丁目1番地4-701
TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328
MAIL：kago@botuichi.com

●楽々亭通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。